

第 2 1 回 就職交流会 実績およびアンケート結果

■実施日：2018年1月11日（木） 13時30分～16時45分 ※17時～18時で意見交換会（懇親会）

■参加数：44大学（62名）／企業36社（65名） 計127名

参加内訳（大学）

国公立 (23)	茨城大学、大分大学、大阪大学、お茶の水女子大学、九州工業大学、九州大学、群馬大学、埼玉大学、首都大学東京、信州大学、千葉大学、筑波大学、東京医科歯科大学、東京工業大学、東京大学、東京農工大学、東北大学、名古屋工業大学、広島大学、北海道大学、三重大学、山口大学、横浜国立大学
私立 (21)	学習院大学、神奈川工科大学、金沢工業大学、関西大学、北里大学、近畿大学、慶應義塾大学、工学院大学、埼玉工業大学、芝浦工業大学、上智大学、成蹊大学、千歳科学技術大学、中央大学、東海大学、東京工科大学、東京都市大学、日本大学、立命館大学、龍谷大学、早稲田大学

参加内訳（企業）

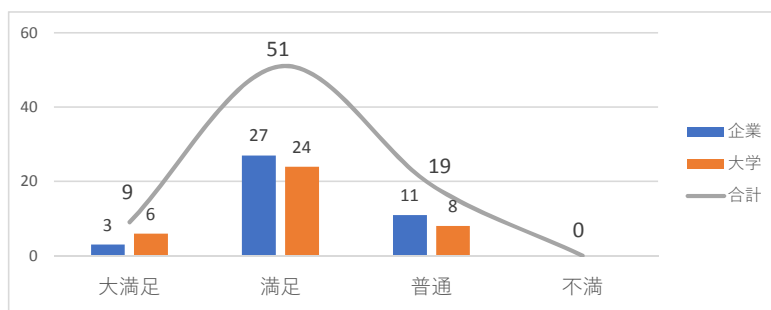
<p>アキレス株式会社、株式会社A D E K A、上野製薬株式会社、宇部興産株式会社、株式会社エフ・シー・シー、大塚化学株式会社、カーリットホールディングス株式会社、花王株式会社、関東化学株式会社、群栄化学工業株式会社、K Hネオケム株式会社、JNC株式会社、四国化成工業株式会社、昭和電工株式会社、住友大阪セメント株式会社、住友ベークライト株式会社、太陽ホールディングス株式会社、D I C株式会社、株式会社テクノプロ テクノプロ・R&D社、デンカ株式会社、東罐マテリアル・テクノロジー株式会社、東京応化工業株式会社、東洋アルミニウム株式会社、東レ株式会社、富田製薬株式会社、ナガセケムテックス株式会社、日油株式会社、日産化学工業株式会社、日本ケミコン株式会社、日本ゼオン株式会社、日立化成株式会社、富士フイルム株式会社、保土谷化学工業株式会社、マナック株式会社、株式会社ミマキエンジニアリング、有機合成薬品工業株式会社</p>
--

■アンケート結果

実施方法：参加者にアンケートフォームをメールにて送付。

回答数／配布数：大学 38／62 、 企業 41／65

■就職交流会の満足度について



■就職交流会の満足度について（コメント）

▼企業側

企業数と大学様の数がほぼ均等のため時間を余すことなく効率よく交流できたため。
ご担当の先生方が2人座っている場合は、それぞれ1人ずつでご対応いただけるようにご指示をお願いしたい。そうすれば効率的に多くの学校の先生方とお話が出来るかと考えます。
企業側が大学側を訪問する時間、またその逆もあり、幅広く交流の機会があったことで有意義な時間となりました。
昨年度よりスムーズに回れた印象です。スペースの兼ね合いもありますので難しいかとは思いますが、訪問する場合、ほぼ満席状態の時、入り口付近にて様子を伺う状態になります。ブース訪問者側の後方、やや離れたところに次ということで椅子が置かれていれば、訪問し易いかと。
遠方の大学との情報交換が容易に実施できた
先に企業が着席している運用に戻していただきたいです。
挨拶をしたいと思っていた大学すべてを訪問することが出来ませんでした。
新規開拓をすることで担当教授とのつながりはできた。また、積極的な先生であれば質問をして頂いたり今後の御協力も頂けるところまであった。一方で、就職担当教授の大半は持ち回りという実態もあり、有名企業に対しては友好的に接していたがそうでない企業にはやや事務的に対応する大学もあった。
多くの大学の方と情報交換することが出来ました。
机一つに2つの大学が座っているケースがあったが、机に余りがあるのであれば、大学の参加人数に関わらず、大学（企業）別に机を割り振って頂くと助かります（当社では2名で参加していましたので）。
この形式なりの工夫を自分たちがするべきでした。（例えば、パンフはブースで渡せると思い、前半手ぶらで先生方のところに伺うこととなった、など）

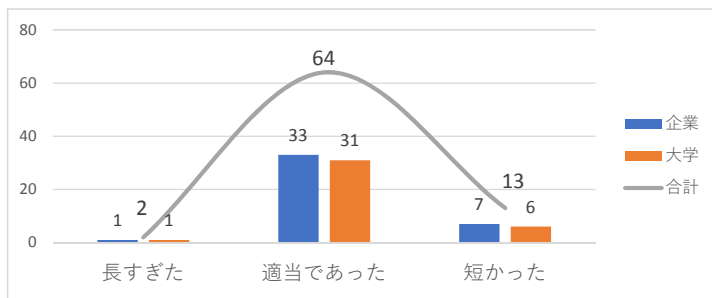
第 2 1 回 就職交流会 実績およびアンケート結果

時間が足りなかった。複数人で参加したにもかかわらず、企業側、大学側とも分散せず、効率が悪かったと思います。

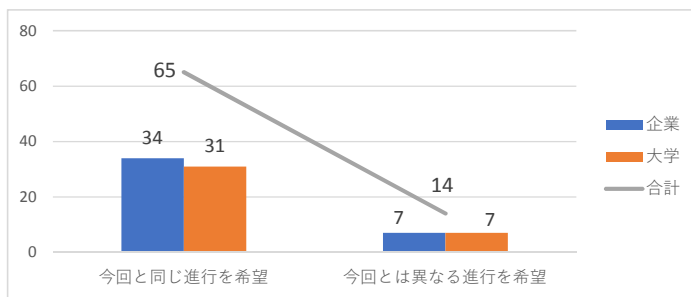
▼大学側

多くの企業の方と話ができて良かったです。
昨年から参加させていただいておりますが、普段お会いすることがない企業様と交流をもてることに感謝しております。
来年もご案内お願いします。
多くの企業の方と話すことができ、効率的でした。
企業様がお話をご希望される他大学様が多いとは言え、情報交換出来る機会があることは大変貴重でした。
大学と企業が入れ替わったので、来てくれる企業が良く分かり、良かった。
自分自身としては初めての参加でしたが、思った以上に企業の方と話ができて、よい交流の機会となりました。
関西以外の地域から、関西地区の学生を採用したいという情報を得たのがよかった。このような情報は、学内での企業様との面談では得ることが少ない。このように大学近辺の企業以外と交流を持ることがメリットであると感じた。
担当時間中、絶え間なく企業の方と交流できた。
人事と交流がはかれてとても良かったです。
1日で、多くの企業の採用担当者と面談できた点が良かった。
説明が聞きたい企業の席がいつも塞がってがっている。予約制とか整理券制とか考えられないものだろうか。
交流会（名刺交換会）1で、他校のブースで説明が終わるのを待っている人事担当の方がおられるのに、本学のブースにあまり多くの企業の方がお越しになりませんでした。その分、交流会（名刺交換会）2で、多くの企業の方にお目にかかれたらと思っておりましたが、残念ながら時間が足りませんでした。興味のあるなしの問題はあるかと思いますが、待っておられる方が空いているブースにお越し頂ければと感じました。
以前参加したときに比べ、実際に話げた企業数が少なかった。
大学側は異なる大学が相席になるケースがあった。込み入った話をする場合もあるので多少やりにくかった（おそらく聴ききてくれた企業側もそう思っていると思う）。
大学よりも企業の参加者が少なかった。
一度に多くの企業担当者と会えたので効率的だった。
化学を学んだ学生が欲しい企業なので、専門性がマッチしており、大変有難い機会になりました。
非常に多くの企業の人事担当の方とお話しできて有意義だった。

■就職交流会の時間（13：30～16：45）について



■交流会（名刺交換会）について



▼「今回とは異なる進行を希望」と答えた方へお願いします。ご希望をお教えてください。（企業側）

反対でお願いしたい。
後半の時間を短くしてはどうか？（後半はすでに面会を済ませたケースが多くなるため）
昨年の企業 前半：ブース、後半自由移動の方が企業側からすると回り易かった印象があります。
前半：ブース、後半：自由移動を強く希望します。
当社は今回2名で参加させていただき、前半の自由移動でほぼ希望の大学ご担当者様とお話しする機会をいただきましたので、ブース運営の必要性を感じる事ができませんでした。
先に企業が着席している運用に戻していただきたいです。
後半のブースは希望企業のみとした方がよいと思います。

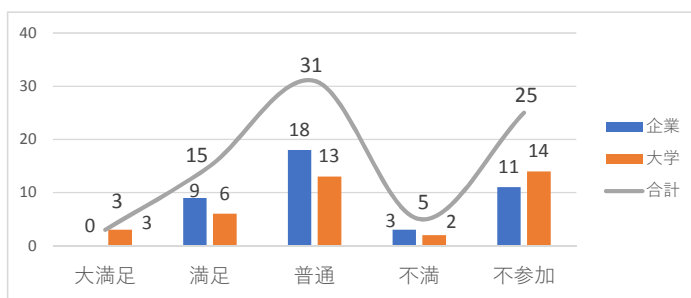
第 2 1 回 就職交流会 実績およびアンケート結果

前半：ブース 後半：自由移動

▼「今回とは異なる進行を希望」と答えた方へお願いします。ご希望をお教えてください。（大学側）

自由時間の際のロス時間が多かったため。
会社のブースは必要ない。大学ブースに2時間使う。その代わり、一社の時間は5分程度と制限する。
企業側からは1社5分間のスピーチ形式、その後大学側が企業を回る。
以前は最初に就職活動全般に関する講演がありましたが、初めて参加する就職担当の教員にとってはその様な講演があった方がいいかもしれません。また、近畿圏の学生の採用を検討している企業がどの企業なのかわからず行き当たりばったりになってしまいました。各企業の短いプレゼンなどがあってもいいのではと感じました。
前半ブースだけで十分。

■意見交換会（懇親会）の満足度について



■意見交換会（懇親会）の満足度について（コメント）

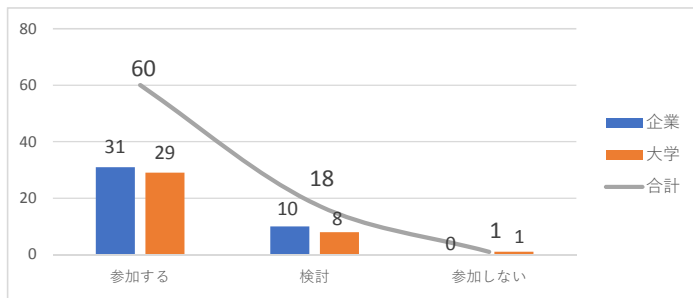
▼企業側

知っている方々で固まっており、声を掛けにくかった。学校側と会社側のストラップの色を変えるなど工夫して欲しい。
懇親会はなくていいので、交流会の時間を増やして欲しい。
交流会会場ですと名札が小さく見えないので改善を希望します。
懇親会といいつつも、企業側（大学側）だけで固まってしまったケースもあったため、出席者大学・企業でテーブルに最初だけ振り分けておくなどの工夫があれば交流の時間は増えたと思います。
顔見知りでないと話づらいが、やむを得ないかと。
長テーブルより、円卓（行き来できる）様な配置のほうがよかった。
担当教授への根回しもできたことで満足しています。
コップ等を一時的に置いておくためのテーブルがありますと、名刺交換しやすく嬉しく思います。
交流会のみでは、時間が不足して意見交換できなかった大学の先生と名刺交換・話が出来たので、今後とも継続をお願いします。
お顔とお名前が一致している先生は問題なく、そうでない場合（恥ずかしながら多数でした）は話しかけに行く切っ掛けが掴みづらかった。コミュニケーション能力が問われているといえ、それまでですが、先生も同様のご意見がおりではと思いました。
企業と大学を対面で立たせ強制的に意見交換させるなど、仕組みづくりが必要だと思います。
名札が見えにくく、先生へのアプローチが難しかった。

▼大学側

次回以降も開催していただきたいです。
あまりお話出来なかったのですが、他大の先生と情報交換出来たのも有意義でした。
初めての試みと伺いました。企業の方と大学関係者との間で、一般的な話が盛り上がるのはなかなか難しく、今後、何らかの工夫があると良いと思いました。
採用に関する有益な話がありました。
名刺交換時間との違いが明確ではない。
ブースが混んでいたため面談できなかった企業の方とお話できたのは良かった。その一方、就職に関する話は、お互い本音と建前があるので、お酒の席で話づらい。
結局、知り合い同士が固まって交流ができなかった。
ブースの時と違い、誰が誰かわからない。ネームプレートを「大学」「企業」で色分け、企業名(ロゴ)、大学名をもう少し目立たせてもらえると声をかけやすいです。
不参加ですが、必要ないのではないかと。
大学のOBの方ともお話でき、いい機会になりました。

■ 次回の就職交流会について



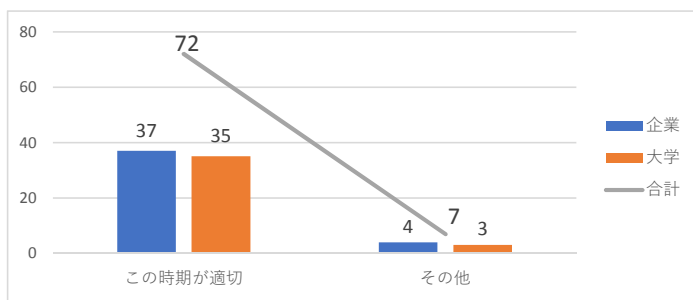
■ 今回参加していない大学で、次回、参加して欲しい大学があればご記入ください。（企業側のみ設問項目）

地方中堅国立大学、青山学院大学、秋田大学、岩手大学、宇都宮大学、大阪市立大学、大阪府立大学、鹿児島大学、岐阜大学、京都大学、静岡大学、東京理科大学、長岡技科大学、名古屋大学、日大工学部、弘前大学、福島大学、宮崎大学、明治大学、山形大学、立教大学

■ 今回参加していない企業で、次回、参加して欲しい企業があればご記入ください。（大学側のみ設問項目）

クラレ、資生堂、住友化学、積水化学、第一工業製薬、大日本印刷、日華化学、横浜ゴム、ライオン
 「電気系、半導体系、など化学系の学生を必要とする企業をもっと掘り起こして頂きたい」
 「B to Bの企業で製造業、プラント系の企業や留学生・女子学生の採用に積極的な企業」

■ 日程のご希望について



▼ 「その他」と答えた方へお願いです。ご希望をお教えてください。（企業側）

1月はイベントも多く、12月にして頂きたい。
11月もしくは12月頃。（1月は会社説明やOB訪問予定が既に決まってしまうケースが多い為）
年内を希望します
次期採用活動に向け、もう少し早い時期でも良いと思います。
既に、学生が動き出しているので、12月中でもよいかと思いました。

▼ 「その他」と答えた方へお願いです。ご希望をお教えてください。（大学側）

大学入試センター試験直前のため、この頃非常に多忙である。できればセンター試験後の開催を希望する。
12月までの開催の方が参加しやすいため。
但し、センター試験直前は、移動を考えた時、少しきつかったです。
もう少し早く年明け前でも良いのではないか。

■ 採用活動に関して、お困りのことや、希望するサービス・情報等がございましたらご記入ください。

▼ 企業側

求人票や推薦依頼書の送付先がEXCELシートにまとまっているとありがたいです。
博士学生の就職活動状況に関する情報のご提供

▼ 大学側

採用活動のスケジュールに関して、経団連の「採用選考に関する指針」が形骸化している。1dayインターンが認められ、ますます大学院生の研究にける時間が減少してしまっている。
近畿圏でも同様の就職交流会を開催して頂けると非常に助かります。会場の提供等も可能だと思いますので、ご検討下さい。
AI面接を実施している、あるいは実施を検討している企業 / JABEEプログラム修了生の採用を積極的に行っている企業の情報があれば教えて頂きたい。

第21回 就職交流会 実績およびアンケート結果

■その他、感想、要望等ご自由にお書き下さい。

▼企業側

多くの教授方々と交流ができ、非常に有意義な時間でした。貴重な機会に参加させていただき、ありがとうございました。
弊社は学校訪問を主体として採用活動を行っていますが、このような機会を頂けると短時間に複数の学校と接触できるため、大変有意義だと感じております。欲を申し上げれば、時期を多少ずらして大阪開催があればと。
今後も継続的に就職交流会の場を設けていただきたいと思います。
就職交流会で、行きたい大学のブースが埋まっていることが多く、私見ですが そういう大学は1社当たりの時間が長い（話が盛り上がっている）ように感じました。 案内やスケジュール等に、1社10分～15分以内で終わるようご協力くださいなどの1文があるといいのではないかと思います。 （盛り上がって守れないこともあると思うので強制ではなくて良いと思います） 今年もお世話になりました。良い大学と会えるいい機会ですので、今後も毎年参加したいと思います。運営等お疲れ様でした。
やはり採用活動にあたり、特に理系の学生の採用が難しい状況が続いております。その中でこういった機会を頂戴できるのは非常に弊社としても有難く感じております。今後とも是非こういった機会を頂き、参加させて頂ければ幸いです。
個別の面談で、大学側から求人票などの提出方法等の変更事項についてお話を頂いたケースがあったが、出来ればこれらの事務的事項については、配布書類などで纏めてまとめて配るなどの対応が出来ないだろうか。同様に、各企業の求人実施（基本的にリクナビなどで掲載など）に関するご質問も頂いたが、これも同様に配布資料に纏められないだろうか。 一日で多くの先生方にお会いする事が出来、非常に有用な会でした。今後も継続して頂く事を希望します。
交流会の費用が高過ぎると思います。

▼大学側

就職担当の先生その他、キャリアセンターの方なども参加して欲しい。
東北地区の大学が少ないと感じています。
スタッフの方が入口付近で面談を受けていない企業様のご案内をしていただいたことに感謝申し上げます。限られた時間内の面談になりますので、実現性は難しいかもしれませんが、大学と企業の面談時間がある程度時間を決めていただけるとより多くの企業様と面談ができると思います。面談時間は10分以内など。
この度は急なお願いにも関わらず、参加を認めて頂き、本当にありがとうございました。
OBが就職していない、あるいは少ない企業の方とはなかなか話す機会はありませんが、本会では様々な企業の方と交流が出来、良い企画だと思います。
後半の、大学側が自由に移動する時間帯で、混んでいてなかなか行けない企業があったが、やむを得ないかもしれない。
事務局の方には、企画・調整が大変な作業かと思いました。ご尽力に感謝します。
輩出する人材の質、量に、大学間でとても差があるので、実施方法に何か工夫があればよいかと思いました。限られた時間の中で会社の人に対応するのは、特に我々のような小さな大学だと優先順位も低くなるのだらうかと率直に感じました。たとえば、国立と私立で時間帯を分けるとか、帝大とそれ以外分けるとか。（ただし、これだと大学間の選別になるので、取扱いが非常に難しいかも）何か策があればご検討をお願いします。
ただ、参加自体は有益だったので、来年もお願いしたいと思います。ありがとうございました。
OBがいないと、その大学から学生をなかなか採れない、という現実があるようだ。また、複数の企業から、大学が企画する学内の企業説明会に参加したいけど、枠がいっぱいで大学に断られてしまったという話を伺った。
企業の人事側の見解を聞いたのがよかったです。より学生と企業のマッチングができるよう学生を指導していかなければと感じましたが、そのためにも企業が扱っている材料がどのような商品（の一部）になっているかなどがまとめられていると学生が企業をより身近に感じられるのではないかと思います。

■参考）就職交流会の参加数の推移

